

**筑波学園都市交流協議会が実施した  
第7回生活環境・職場ストレス調査のデータを用いた研究について**

筑波学園都市交流協議会（以下、筑協）は平成29年に第7回生活環境・職場ストレス調査（以下、調査）を実施しました。調査報告書は筑協ホームページ (<http://www.tsukuba-network.jp/>) を通じて公開されています。筑協の会員機関である筑波大学は、筑協から調査データの提供を受け、学術利用をさせていただくことになりました。研究目的や方法は以下の通りです。この研究に対するご意見ご要望は、下記の問い合わせ先へお寄せください。お寄せいただいたご意見ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

<b>1. 研究課題名</b> 筑波研究学園都市の労働者の生活環境・職場ストレス調査研究
<b>2. 研究の対象および研究対象期間</b> 平成29年2月～3月に、筑協が実施した第7回生活環境・職場ストレス調査に回答した方7255名
<b>3. 研究目的・方法・期間</b> 本研究の目的は、労働者のメンタルヘルスの増悪もしくは緩和因子を明らかにし、社会還元につなげていくことです。筑協からデータの提供を受け、調査から得られた情報を筑波大学医学医療系（産業精神医学・宇宙グループ）において解析します。学会発表や学術論文の形で公表していきます。研究期間は、筑波大学医の倫理委員会承認後から2023年3月までです。
<b>4. 研究に用いる情報の項目</b> 性別、年齢、職種、雇用形態、勤務年数、最終学歴、世帯年収、婚姻状況、子供の人数、居住地、居住形態、居住年数、勤務期間、通勤手段、生活環境、喫煙習慣、受動喫煙、生活環境で困っていること、運動習慣、森林浴の習慣、海外経験、通院について、Social Capital in Work、Self-rated Health、Mental Health Continuum Short Form、Brief Scales for Coping Profile、Life Orientation Test Revised、Brief Scales for Job Stress、Sense of Coherence、K6、Athens Insomnia Scale、いじめ体験等について、自殺念慮について <b>調査から得られた情報には、回答者個人を識別できる情報は含まれていません。</b> このため、研究対象者に該当する方でも、実際に回答したかどうかを確かめることはできません。 また、個人の回答データを特定して削除することはできません。
<b>5. 研究実施者</b> 筑波大学医学医療系（産業精神医学・宇宙医学グループ） 教授 松崎一葉（筑協労働衛生専門委員会委員） 准教授 笹原信一郎（筑協労働衛生専門委員会委員長） 助教 大井雄一、道喜将太郎、堀大介（筑協労働衛生専門委員会委員）
<b>6. お問い合わせ先</b> 本研究に関するご意見ご要望等がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。 研究責任者：笹原信一郎 所属：筑波大学医学医療系（産業精神医学・宇宙医学グループ） 住所：305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 電話番号：029-853-6025